

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	新所沢公民館施設提供事業	所管	教育委員会教育総務部 新所沢公民館
			Tel 2924-2955

事業の目的 (何の為に 行うか)	集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民。	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	128,449	人

活動の内容	(何を したか)	施設の利用申請にあたっては、従来からの窓口申請以外にも、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末機・インターネットによる予約手続きの利便性の向上を図り、さらに月曜日及び夜間等のシルバー人材センターへの管理委託により使用料の収納や当日使用の申請が受け付けられるようになった。							
活動実績	項目名	年間利用可能区分数(公民館)	17910	項目名	年間利用区分数(公民館)	10752	項目名	年間利用区分数(地区体育館)	15929
		単位	回		単位	回		単位	回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	22,837	20,114	26,220	77.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	80	60	75.0
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120708	TEL	2924-2955		
事業コード	新所沢公民館施設提供事業							
120714								
開始年度		昭和	47	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画							
	関連・類似事業	コミュニティ施設提供事業(コミュニティ推進課)							
	総体計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育	中柱	2 社会教育機関の充実	小柱	(3) 公民館の整備・充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においてはその設置目的達成のため、各種の事業を行うとともに、その施設を住民の集会その他の公的利用に供することとされている。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	市民。				公民館の部屋及び地区体育館を利用した延べ人数				
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	176,882
		平成 19 年度	339,058	人			平成 19 年度	128,449	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
施設の利用申請にあたっては、従来からの窓口申請以外にも、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末機・インターネットによる予約手続きの利便性の向上を図り、さらに月曜日及び夜間等のシルバー人材センターへの管理委託により使用料の収納や当日使用の申請が受け付けられるようになった。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	平成19年度中に改善した点							
施設管理に関しては、定期的に施設・設備等の点検を行い、危険箇所等については早急に修繕を実施し良好な施設提供に努めた。さらに利用者が安心して施設を使用できるよう、利用者に広く呼びかけて自衛消防訓練等を実施するなど、万が一の危機回避に努めた。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		21,109	22,837	24,420	
	決算 (見込み含む)		20,628	20,114		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 1.60 人 ) ( 0.80 人 ) ( 0.60 人 ) ( 0.60 人 )				
	正規職員人件費		0.75 人	6,900	0.65 人	6,106
	公債費					
	事業費合計		27,528	26,220		
	財源内訳	一般財源	23,207	22,161	20,411	
		国・県支出金				
		受益者負担金	4,321	4,059	4,009	
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)	81.5	77.3			
	利用数一単位あたり(単位:円)	155.6	204.1			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	年間利用可能区分数(公民館)	1日6区分×部屋×開館日数(月曜日は4区分で計算)	回	18,036	17,910	17,552	
		年間利用区分数(公民館)	年間延べ利用区分数	回	12,680	10,752	10,537	
		年間利用区分数(地区体育館)	年間延べ利用区分数	回	14,510	15,929	15,610	
	成果分析	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100		目標値 80 実績 70.3	80 60.0	80	80
	%	達成率		87.9	75.0		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2   1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	当館は比較的用户の多い館であるので、合理的な窓口対応の向上を図っていく必要がある。また、老朽化した施設であるため、緊急度、優先度を見極めた対応により、利用者が安全にそして快適に利用できるよう配慮していくことが不可欠である。				
評価理由	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	安全な学習場所を提供するため、利用者として協働して施設管理を徹底していく。	平成20年度における目標設定	平成21年3月		
	利用者の利便性を図るため、窓口事務の改善を図る。	申請書式の見直しを図り、受付事務の迅速性を高める。	平成21年3月		
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
施設の老朽化・狭小化に対処するため、早急に建替える必要があるが、建替えに当たっては限られた土地の有効活用を図るため、他施設も含めた複合施設へと建替えるものとする。					
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	新所沢公民館長 斎藤 不二彦		

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日								

⑨環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し							計画コード			
⑩個別計画における方向性	実施の体系								施策の方向		
	◎次世代育成支援行動計画								本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1262
	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします									
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり									
施策の方向	6地域での交流機会の拡大										